

平成30年度 百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	家庭・家庭基礎	学年	第2学年	教科書	第一学習社「家庭基礎 ともに生きる・持続可能な未来をつくる」
		単位数	2単位	副教材	実況出版「生活学Navi 資料&成分表」

学習目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
------	--

学習方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業において課題に対して自ら考え、また周りの生徒と共同で考える活動を行う。</li> <li>○調理実習において食品の取り扱いと調理技術を習得する。</li> <li>○被服実習において衣生活管理の基本技術を習得する。</li> <li>○グループワークを通してコミュニケーション力を習得する。</li> </ul>
------	--

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	関心・意欲・態度	家族や生活に関する各分野について関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに実践的な態度を身に付けている。	
b	思考・判断・表現	家族や生活に関する各分野について生活を見直し課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。		
c	技能	家族や生活に関する各分野について、基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。		
d	知識・理解	家庭生活や生き方を向上させるために必要な各分野の基礎的・基本的な知識を身に付け、総合的に理解している。		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	豊かな生活と環境	14	人生をみつめる 食生活をつくる	家族・家庭の機能	○	○			a青年期の課題を理解し、さまざまな人と共に生きる社会について考えようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・ワークシート</li> <li>・調理実習</li> <li>・グループワーク</li> <li>・授業態度観察</li> </ul>
				なぜ食べるか	○			○	b栄養や食品の摂取量の目安を理解している。	
				各栄養素と調理			○	○	c実習を通して調理の目的を理解し、基本的な調理技術を習得している。	
				食生活をデザインする	○		○	○	d食品の安全性に関心を持ち、食品の適切な選択や取り扱いができる。	
前期	人の成長と発達	14	子どもを育てる	子どもの育ちをみつめる	○			○	a乳幼児の心身の特徴・発達のしくみを知り、保育の重要性を理解しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・ワークシート</li> <li>・実験実習</li> <li>・グループワーク</li> <li>・授業態度観察</li> </ul>
				乳幼児期はどのような時期か	○	○			b子どもの自立と生活習慣の形成を理解している。	
				子どもが育つ環境	○		○		c子どもの成長・発達と親や大人のかかわりを理解している。	
				子どもの権利と福祉		○		○	d子どもの人権と児童福祉について理解している。	
後期	共に生きる生活	18	衣生活をつくる 住生活をつくる	被服の機能	○			○	a被服材料について科学的に理解しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・ワークシート</li> <li>・被服実習</li> <li>・グループワーク</li> <li>・授業態度観察</li> </ul>
				自分らしい衣生活	○			○	b被服製作で基礎的な縫製技術を習得している。	
				なぜ住まうか	○	○		○	c家族の機能の変化と住居の機能を理解している。	
				より良い住生活をめざして	○	○		○	d家族の機能の変化と住居の機能を理解している。	
後期	将来を見通せる	18	経済生活をつくる 共生社会を生きる	現代の消費生活の特徴	○			○	a複雑化、多様化する消費生活の現状と課題を理解し、経済計画を考えようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・ワークシート</li> <li>・グループワーク</li> <li>・調べ実習</li> <li>・授業態度観察</li> </ul>
				消費者問題について	○	○		○	b消費者信用について理解し自己管理できる。	
				将来を見通した経済計画	○	○		○	c消費者問題の現状と課題を理解している。	
				自分の一生を自分らしくデザインする	○	○			d将来の生き方について考え、より良い生活を作っていくとする姿勢を持つことの大切さを理解している。	
合計時数(55分授業)		64								